

2012年2月29日

各位

グローリー株式会社

兵庫県姫路市下手野1-3-1

(東証・大証1部:6457)

新型システムキーボックス「KBS-100シリーズ」を開発

～ 重要な鍵を無人で厳正管理 ～

弊社は、企業内で使用する重要な鍵の使用履歴を厳正に管理できる新型システムキーボックス「KBS-100 シリーズ」を開発し、4月1日より販売を開始いたします。発売に先立ち、3月6日から東京ビッグサイトにて開催される「リテールテックジャパン 2012」の弊社ブースにて参考展示いたします。

近年、企業では事業継続の観点で、業務遂行においてリスクを軽減できる管理体制構築へのニーズが高まっています。これに伴い厳正な管理、セキュリティ対策が求められる重要物は、“鍵”により、金庫やロッカーなどで施錠され、守られています。しかし、その“鍵”を管理するには管理者が必要で、人を介した鍵の受け渡しは、業務の効率を低下させるだけでなく、ヒューマンエラーによるリスクがつきまといまいます。

システムキーボックスは、オフィス内の各種重要物を管理する鍵の受け渡しを、管理者を介さずに無人で運用することを実現します。まず、使用する個人が社員証カード(磁気、非接触IC)等を用いて認証することで、予め設定された使用可能な鍵ホルダーを持ち出す事ができます。鍵ホルダーを本機から引き抜くと、誰が、いつ、どの鍵を取り出したかを記録することが出来ます。

この度開発の「KBS-100 シリーズ」は、グローリーが1988年に業界初のシステムキーボックスを発売してから第4世代目となり、さらなる機能向上を図りました。新機能としてタッチパネル液晶を採用し、使いやすさの向上に加えて暗証番号入力時にテンキーをランダム表示するなどのセキュリティ対策も実現しました。また、特殊な構造の鍵ホルダーを開発する事で、鍵ホルダーにセットした鍵の取付・交換操作を特定の管理者限定とし、誰が、いつ、どの鍵の操作をしたかを記録する機能を業界で初めて実現しました。

今後弊社は「KBS-100 シリーズ」等、各種セキュリティ製品によるソリューション提案で、幅広い業種の企業のリスク低減と業務の効率化に貢献してまいります。

(主な特長)

① 用途に応じた幅広いラインナップ

→ 鍵ホルダー5、10、15、20、30本タイプの計5機種から選択可能。

② 様々な使用者照合に対応

→ IDコード+暗証番号又は生体認証(指静脈)、磁気カード、非接触ICカード、に対応。

※非接触ICカード、生体認証装置はオプション。生体認証(指静脈)は2012年度中にリリース予定。

③ セキュリティレベルの大幅向上

→タッチパネル液晶採用により暗証番号入力時にテンキーをランダム表示可能、利用履歴を5万件管理可能

④ 新開発の鍵ホルダー機能により更なる厳正化を実現(業界初)

→特殊な構造の鍵ホルダー開発により、鍵ホルダーへの鍵の取付・交換作業などの履歴管理が可能。

【製品イメージ】

